

ご利用者数約2万人、提携学校約1300校、全国318棟を運営 顧客満足度は93.7%！実は知らない寮の魅力をご紹介します

「学生会館ドーミー」には、はじめてのひとり暮らしに必要なすべてが揃っています

学生生活という短くて貴重な時間だからこそ、充実した毎日を送っていただきたい。
 学生会館ドーミーでは「思いっきり夢中になれる住まい」として、様々なサービスや取り組みを行っています。

POINT① おいしいごはんが待っています

体調管理の基本は食事です。

ドーミーでは楽しく・おいしくをモットーに、ただお腹を満たすだけの食事ではなく、
 “旬の食材”を取り入れ、できたての食事を朝晩ご用意しています。



食事イメージ

POINT② すぐに始められるマイルーム

ドーミーの居室は完全個室でプライバシーが守られます。

はじめから生活に必要な家具・家電が付いているため、引っ越し日からすぐに生活がスタートできます。

POINT③ 大切に使える自由な時間

ドーミーには居室の他に、便利な共用設備が揃っています。

準備や片付け、掃除などの家事に掛かる時間を大幅に減らすだけでなく、
 仲間と一緒に過ごせる時間は情報共有の場としてもご利用いただけます。



POINT④ 「いつも安心」がドーミーの使命です

ひとり暮らしでは、自分が動けないときに助けてくれる家族は近くにいません。

「もしもの時」に頼れる大人(寮長・寮母)が近くにいる安心を、ひとり暮らしでも提供します。

また部外者が勝手に入館することを防ぐオートロックだけでなく、ICキーで出入りを記録し、万が一にも備えた仕組みを整えています。

POINT⑤ 出会える「きっかけ」を大切にしています

毎日のダイニングルームでの日常的な交流から始まり、毎年春や秋に行われる歓迎会。

施設の垣根を超えて行われるバーベキュー大会やクリスマスイベントだけでなく、キャリアセミナーやボランティアといった、
 就活にも役立つ数多くのイベントをご用意しています。学校や年齢、国籍を超えた友達の輪を広げることが可能です。

POINT⑥ ドーミーなら退学しにくく、就職にも強い

一般的な専門学校の退学率は8.3%※1大学の退学率は1.95%※2ですが、
 ドーミーに入居している学生の退学率は0.62%※3。

同世代の方々が切磋琢磨をしていく環境であるからこそ、
 学生生活の次に繋がっていくための制度や仕組みを用意しています。



※1東京都専修学校各種学校協会・発行「令和2年度調査統計資料」より

※2「新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けた学生等の学生生活に関する調査等の結果について」(文部科学省・2021年3月発行)より

※3共立メンテナンス調べ。当社首都圏契約者数と契約途中の退寮者アンケートを元に算出(2020年度)。

「学生会館ドーミー」の最新事情はこちらから：<https://dormy-ac.com/>

■取材・撮影に関するお問い合わせ先

株式会社 共立メンテナンス コーポレートコミュニケーション部

TEL：03-5295-7072 FAX：03-5295-7061 EMAIL：pr-info@dormy.co.jp

■学生寮に関するお問い合わせ先

首都圏 学生会館事務局 TEL：0120-88-1030

9:00～17:30 (4月～9月 平日のみ/10月～3月 年末年始を除き無休)

ぜひ取材ご検討ください！「学生会館ドーミー」独自のサービスや特徴

学生・保護者・導入学校・営業担当など様々な目線からお話いたします。

青森県弘前市・山形県山形市エリアに初進出！ 《ドーミー弘前・ドーミー山形本町・ドーミー仙台小松島》

一昔前であれば「プライベート空間がない」「古くて汚い」といったイメージもあった学生寮ですが、今回オープンする3施設では、すべての客室内にバス・トイレを完備しており、プライベート空間はしっかり守りつつも、ご入居者同士の交流やカフェ利用もできるダイニングルームなども完備しています。様々な学校の学生同士が集まることで、**ひとり暮らしでは得ることのできない学びや成長の機会**も提供いたします。

紹介例①「青森・山形の初進出エリアのへ期待感」として

全国で300棟以上を展開する「学生会館ドーミー」ですが、今回、青森県弘前市・山形県山形市エリアに初進出することとなりました。寮の営業担当や寮制度を導入する学校のご担当者などから、初進出エリアに対する期待感や開発の経緯などをお話いたします。

紹介例②「時代に沿って変化する住まい選び」として

ここ数年、住まいに対しても豪華な設備やサービスといった「付加価値」が重視されるようになってきました。転換期となった新型コロナウイルスの流行から、学生は何を基準に住まいを選び、コミュニティを育むのか。寮を「住むだけではない学びの場」として活用する、「学生寮の最新事情」を、学生、保護者、導入学校のご担当者、寮の営業担当目線などからお話いたします。

学生や担当者への取材・館内の撮影 ご検討ください！

撮影希望時間(平日)

共用部・居室:9:00~17:00、朝食:6:30~8:30の前後、夕食:18:30~22:30の前後、学生・担当者インタビュー(要相談)

【SDGsの取り組み】専用アプリで食品ロス削減・学生の食育に貢献

食事の申し込み機能や寮長・寮母とのメッセージ機能などが備わる寮生活支援アプリ「ドミコ」の提供を2021年12月から開始しました。アプリ上でいつでもどこでも食事予約や残食数の確認が可能となり、突発的な食事需要にも対応可能です。また、食事キャンセルに対する寮生の意思表示がリアルタイムで反映されることから、無駄な食事の準備が無くなり食材ロスの削減にも寄与しています。

紹介例①「SDGsの取り組み」として

本アプリの導入により、食材の無駄を無くすことができ、SDGsの目標の一つである「食品ロス削減」へと繋がりました。また各種手続きもデジタル化、データベース化することで紙資源の消費抑制に繋がり、よりサステナブルな社会の実現に貢献します。ドミコを通じて、寮生一人ひとりがSDGsに対する関心を持ってもらうような仕組みづくりを続けます。ドミコ制作の経緯から、今後どのような展望があるのかを担当者目線からお話します。

紹介例②「食育推進への取り組み」として

現代社会では、「朝食を欠食する若い世代の割合」を減らすなど、学生をターゲットにした食育の推進も重点事項の1つとなっています。学生寮における栄養バランスを考慮した食事提供の取り組みや欠食をならないような工夫などを担当者様からお話いたします。



「学生会館ドーミー」の最新事情はこちらから：<https://dormy-ac.com/>